

# 原子カムラ境界線上の「哲」人対話 第9回

— いつもの3“哲”（あほ×アホ×“癒し系”） —

シカイ



ゲスト 小川仁志  
哲学者、山口大学准教授



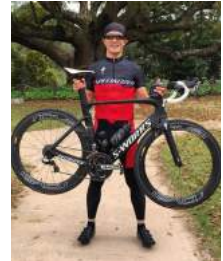
飯田哲也  
環境エネルギー政策研究所



澤田哲生  
東京工業大学助教



北岡哲子  
日本文理大学特任教授



西嶋能成  
在野の体力派「哲」人  
市民エネルギーやまぐち

ISEP所長・飯田『哲』也氏と東工大助教・澤田『哲』生氏の原子力をめぐる推進か脱かの“二項対立、を超えるダイアログ（対話）”——テーマは時勢に応じたもの、そうでないもの“不易流行、を問わず森羅万象に亘る。都度、テーマおよび話題の振向けはコーディネータの掌中にある。ともに同年代で同時代を関西にある“あほ、の掃き溜めである某大学ですごし、名前に『哲』を含むところから『哲』人＝あほと透かし読むこととした。『第3回目』からは、北岡『哲』子氏を加えた3人の「哲」人（＝あほ×アホ×“癒し系”）で対話する。

今回の「アホ哲」はゲストの「哲」学者・小川仁志氏を加えた4人の「哲」人で、原子カムラの境界線を「哲」学する。

## 概要

日時：2018年3月15日（水）19:30～21:00（19:15開場）

会場：環境エネルギー政策研究所（ISEP）

（東京都新宿区三栄町3-9 iTEXビル、JR・東京メトロ四ツ谷駅徒歩6分）

主催：学術フォーラム・多価値化の世紀と原子力

共催：環境エネルギー政策研究所(ISEP)

傍聴方法：自由参加。（定員15名程度）

懇親会：開催で検討中。自由参加、近隣で実施。時価。

動画配信：同時配信予定。

Facebookページ：<https://www.facebook.com/ahotetsutaiwa/>

Youtubeチャンネル：<https://www.youtube.com/user/ahotetsutaiwa>

## プログラム

テーマ

原発を「哲」学する ～原子カムラの境界線を哲学的に探る～

原子カムラの境界線を哲学的に捉え直す

原発は本当に安い？

使用済み核燃料の最終処分問題の着地点

原発の事故リスクを考える

帰還者と自主避難者の分断を生むもの

政策の決め方、熟議に向けた公論形成

など

## お問い合わせ

ご参加の方は、道満までご連絡ください

ISEP担当：道満

東京都新宿区三栄町3-9 iTEXビル

電話（ISEP）：03-3355-2200

E-mail: dohman\_haruhiko @isep.or.jp

東工大担当：澤田

東京都目黒区大岡山2-12-1 N1-5

電話（研究室）：03-5734-3062

E-mail: tetsuo @nr.titech.ac.jp